

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立中央小学校）

平成30年9月25日

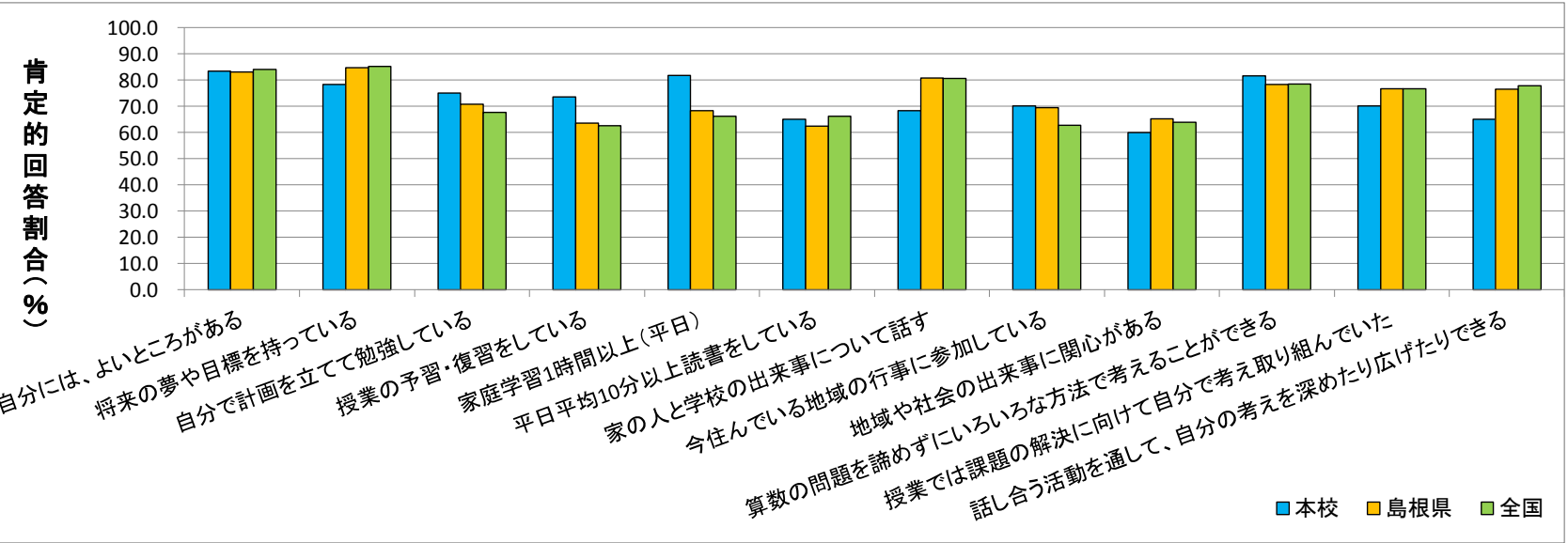
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
国語	A (基礎)	○全校での毎月の漢字・計算会や日常的に辞典を身近に置き活用することにより、言語についての知識・理解・技能が身についている。また、想像した物語を文章全体の構成を考えて書く力に優れている。 ●じっくりと深く文章を味わう習慣が付いておらず、物語において、登場人物の心情を読み取る力が弱い。	・読書の質と量をあげるために、朝読書の時間を充実させたり、指導単元に合わせた並行読書をすすめたりする。また、物語の読み取りの指導において、文章を表面的にとらえず、暗示的に表現されている場合にも言葉に着目させながら内面にある深い心情が読み取れるように学習を展開していく。
	B (活用)	○全体的に全国の平均を上回る正答率。思考して表現する学習を大切にしたことにより、特に記述する問題での正答率がいずれも全国の平均より高い。 ●目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して推薦文を書く力が弱い。	・引き続き授業の中で、思考して表現する学習を大切にする。 ・目的や意図に応じて文章を読んだり書いたりすることや、文章の構成を理解してそれをもとに表現する学習を充実させると共に、他教科や生活との関連を図り活用する力を養う。
算数	A (基礎)	○全校での毎月の計算会の取り組みやドリル学習により、計算の力はほぼついている。 ●小数の割り算や円周率についての理解が十分にできていない。 ●単位量あたりの大きさを求める考え方が十分に理解できていない。	・立式の意味を問題の場面や図と関連付けて考えることや、求めた答えの意味を考える活動を大切にする。 ・図や数直線などを用いて数量の関係を的確にとらえ、立式に結びつくような学習活動を大切にする。
	B (活用)	○問題に対して自己思考の時間や説明し合う時間を随時取り入れたことにより、数量の關係に着目して複数の情報を処理したり、論理的に考察したりする力がついている。 ●グラフの特徴を理解し、複数のグラフを関連付けて解釈し、それを言葉でわかりやすく表す力が十分でない。	・他教科や日常生活の問題解決において、読み取った情報が適切かどうか検討したり、目的に応じてグラフを新たに作ったりして、複数のグラフを関連付けて考えをまとめていくような学習を丁寧に行う。
理科		○自然事象に触れられる環境を整え、その機会を増やすようにしてきたことから、身近な生き物の活動や植物の成長を、愛護する態度をもって、観察できる。 ●実験や観察への意欲は高いものの、実験結果を基に分析して考察し、その内容を適切に表現する力が十分でない。	・実験結果の見通しをもって、予想や実験計画が立てられるような学習活動を大切にする。 ・実験を基に考えの根拠となる「事実」を明確にして、その「事実」と「結果から考えられること」との両方を整理して表現できるようにする学習活動を丁寧に行う。

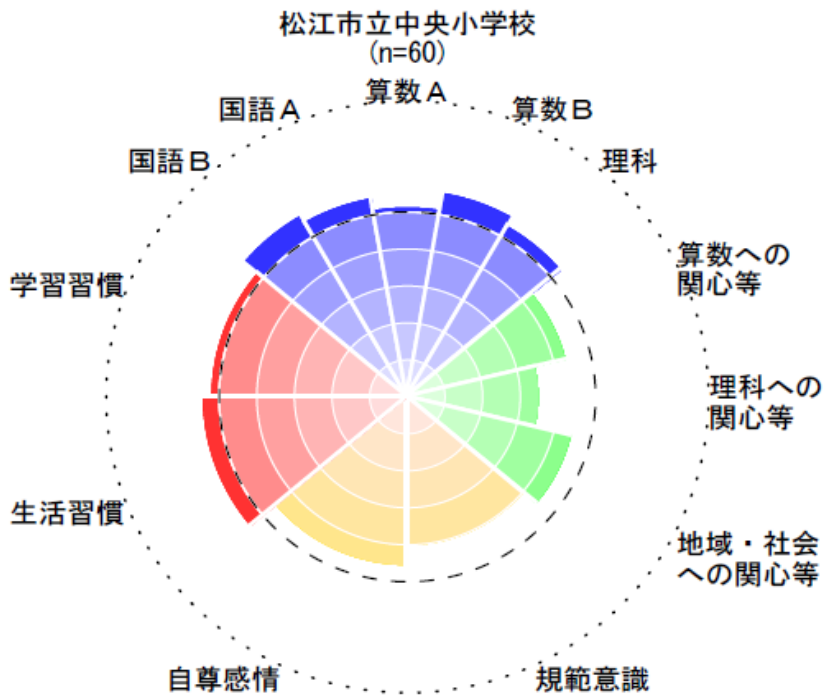
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
		○学校全体で家庭学習の習慣化を図る働きかけや自主学習ノートの評価を細やかに行ったことにより、自分で計画を立てて家庭学習に取り組む子どもが多い。 ●10分以上読書をしている子どもは、全国の平均並みだが、30分以上読書をする子どもは、全国や県の平均より低い。 ●授業には、話し合う活動を意図的、計画的に取り入れているが、主体的に参加し自分の考えを広げたり深めたりしようとする子どもは、特定な子どもに限られている。	・全校で取り組む朝読書の時間の充実を図る。 ・学習内容に合わせて並行読書ができるように、環境を整える。 ・授業では、引き続き話し合う活動を取り入れると共に、対話力のスキルを積むようにする。 ・学級づくりにおいて、何でも話し合える雰囲気作りをする。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・全教科に関わる読み取りの基礎となる国語力を高めるために、読書の質と量が充実するようにする。
- ・対話を取り入れ、思考を深める効果的な学習のあり方を理科を中心として研究し、全教科で取り組む。

【参考】

○平均正答率

		本 校	松江市	島根県	全国
国語	A	74	70	68	70.7
	B	60	57	55	54.7
算数	A	64	62	61	63.5
	B	56	50	49	51.5
理科		63	59	58	60.3

受検者数 60 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。